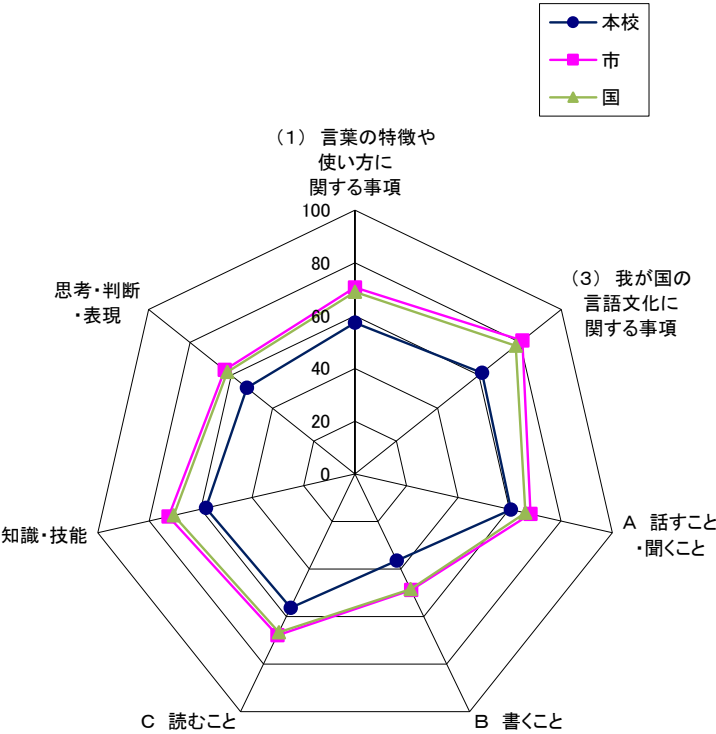


宇都宮市立桜小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国，市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	57.3	70.7	69.0
	(2) 情報の扱い方にに関する事項			
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	61.5	81.1	77.9
	A 話すこと・聞くこと	60.6	68.2	66.2
	B 書くこと	36.5	48.9	48.5
	C 読むこと	56.3	67.9	66.6
観点	知識・技能	58.0	72.5	70.5
	思考・判断・表現	52.4	63.2	62.0
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方にに関する事項	●特に、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題で、課題が見られる。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字練習の時に、熟語の繰り返し練習だけでなく、漢字を使った文章を書く練習を取り入れるようにする。また、意味や使われ方に着目して、文章の内容に合った漢字を書くことができるようにする。
(3) 我が国の言語文化に関する事項	●手紙を書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する問題で、課題が見られる。	・ただ書くだけではなく、漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるよう指導する。 ・読みやすい文や文章を書くためには、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことや、漢字や仮名に大きさ、配列に注意して書けるよう指導する。
A 話すこと・聞くこと	●自分の考えをまとめる問いで課題が見られる。	・話し合い活動やスピーチの単元において、話の内容が明確になるように、話の構成を考えてメモを作る学習活動を取り入れる。 ・自分自身の考えを書くことができるように、学習活動の中で意図的に意見を書まとめる場面を設定する。
B 書くこと	●自分の文章のよいところを書く問いで課題が見られる。	・どのように書いたら説得力のある文章になるのかを考え、文章の構成を工夫したり、理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように文章を書いたりする学習活動に、引き続き取り組んでいく。 ・文章に対する感想や意見を伝え合うことができるような学習活動を意図的に取り入れる。
C 読むこと	●物語を推薦する文章を書く問いで課題が見られる。 ○登場人物の相互関係について描写を基に捉える設問は、県の正答率と同等である。	・人物像や物語の全体像を具体的に想像しながら読み、感じたことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動を取り入れていく。 ・登場人物の相互関係や心情などを捉えることを大切にする活動を取り入れていく。